

Campus Today



地域の歯科医療者・高齢者らにワクチン接種



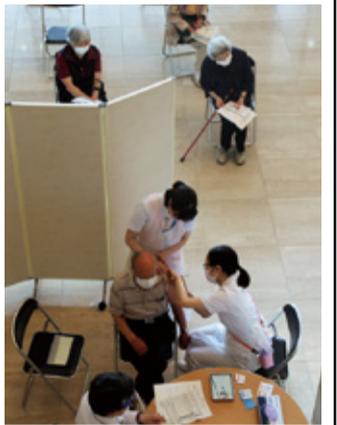
本学病院で地域の歯科医療従事者約800人へワクチン接種が行われた

本学病院と図書館が接種会場に 中核的医療機関として地域に貢献

本学病院は、5月23日(日)と30日(日)の休日を利用して、松本市歯科医師会および塩筑歯科医師会所属の歯科医療従事者(歯科医師・歯科衛生士等)約800人に新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)のワクチン接種を行った。また5月25日(火)からは塩尻市の高齢者を対象にしたワクチン接種を開始。ワクチン接種の態勢を整え、地域に貢献していく。

歯科医療の医療従事者に対するワクチン接種は、松本市歯科医師会および塩筑歯科医師会からの依頼によるもので、本学病院の医師3人、看護師8人、歯科医師6人、薬剤師1人他事務員等を含め約30人のスタッフにより実施された。会場および駐車場誘導担当として、会場の病院1階フロアには、密にな

らないように動線を配して、入口から受付、接種場所から待機場、出口までを一方通行とし、被接種者にわかりやすいように案内した。入口で検温を行った後、受付では身分証明書(運転免許証等)で本人および住所確認をし、次に事前に記入されている予診票をスタッフの歯科医師が確認。前島信也病院長と佐藤晶医師、相馬啓子医師が体調やアレルギーの有無などの問診を行ったうえで、3つのブースに分かれて看護師が接種を行った。接種後には接種記録書が交



高齢者へのワクチン接種

付され、次回の接種日と時間が確認された。その後本館北棟のラウンジで15分以上待機してもらい、体調に異常(アナフィラキシーショック等)がなければ帰宅していただくよう指示。体調に異常があった場合に備え、歯科麻酔科の医療スタッフを待機させた。

23日午前10時からの予約で訪れた矢島クリニック院長・矢島芳明先生(1期生)は、「ワクチン接種に対して正直不安はありましたが、とてもスムーズに丁寧接種していただいて、感謝しています」と感想を述べた。また、25日(火)の午後3時から、本学図書館エンターランスフロアで塩尻市の高齢者を対象にしたワクチン個別接種が開始された。

第1学年の対面授業開始

矢ヶ崎 雅理事長、川原一祐学長が 新入生を激励



矢ヶ崎理事長の講義を拝聴する1年生

新型コロナウイルス感染症拡大防止に万全を期すため、第1学年生には健康観察期間を設け授業開始を見合わせていたが、新入生全員に再度実施したPCR検査で全員陰性の結果を受け、4月28日(水)より授業の対面授業が始まった。

第1学年の学生が一堂に会しての最初の授業「入門歯科医学」は、キャンパスイン101教室で行われ、矢ヶ崎 雅理事長は講義の中で「皆さん、入学おめでとう。私たちは兄弟姉妹の関係です。教育に欠くべからざる『愛』の精神を忘れることなく、皆さんをわが子のように思い、ご両親に代わってしっかり面倒をみていきます」と方針を述べられた。また、2020年度卒業生が第114回歯科医師会国家

試験において全国第2位という輝かしい成績を収めたことに触れ、他大学がオンライン授業に終始せざるをえない中、本学は抗体・抗原・PCR検査等をはじめ新型コロナウイルス感染症対策を徹底することによって、いち早く対面授業を実施できたことが躍進の一因であることを強調された。さらに、「皆さんは良い頭脳を持っています。授業を休まずに日々勉学に励み、その頭脳をもっと磨いてください。そしていつも笑顔で、心を晴れやかにして6年間頑張りましょう」と励まされた。

矢ヶ崎理事長の訓示を受け、新入生を代表して森神一郎君は「私たち2021年度新入生は、松本歯科大学生としての誇りを持ち、本学の建学の理念をわきまへ、歯科医師の理想をめざして初心を忘れることなく、さらなる向上心を持って勉学に励むことを誓います」と力強く誓いの言葉を述べた。

5月3日(月)の「環境学・国際文化学」の授業の冒頭では、川原一祐学長が挨拶。「皆さんはこれから医療従事者としての責任を担う人材で、患者さんの健康・生命に関与することになり



安藤宏学年主任を囲んで歓談する新入生

上級生が新入生を歓迎 「ウェルカムディナー」で親睦深める

上級生が新入生を歓迎する「新入生歓迎夕食会(ウェルカムディナー)」が着席会の支援を受け、4月30日(金)午後6時より学生食堂で開催された。今年度は第3学年の伊藤公平君がリーダーとなっており、第2学年から第4学年までの学生有志15人が主催し、約70人の新入生を歓迎した。始めに、伊藤君の指揮のもと解剖学講座・金銅英二教授のオルガン伴奏に合わせ、参加者全員で入学式で歌えなかった校歌を斉唱。その後、上級生や教員を交えて11のテーブルを囲み歓談した。

新入生たちは、特別メニューのディナーを楽しみながら、勉強のこと、クラブ活動のこと、学生生活のことなど、先輩たちからのアドバイスを真剣に聞き、同級生や上級生と親睦を深め、これから始まるキャンパスライフに夢を膨らませている。

バイデンがハマるあつまれどうぶつの森

内閣官房参与
松本歯科大学常務理事
特命教授 **飯島 勲**

『プレジデント』6月4日号「リーダーの掟 飯島勲」より、飯島先生の小泉内閣秘書官時代のエピソードに触れながら「贈り物の極意」についての記事を要約して紹介します。

うれしいことに、私の活動をまとめた本が出るようになった。禍ひいてはアフターコロナの世界を生き抜くための「底力」をえてみれば、小泉純一郎元首相の秘書になってから約50年が経った。入れ替わりの激しい政治の世界において、50年もの間この仕事を続けられたことは、素直に自分をほめてもいいのではないかと思っている。

策略と駆け引きが渦巻く政治の世界において、私がこれだけの期間生き残れたのは、秘書を務めることと同時に「生き残り」のスキルをどう磨くかを考え、実践してきたからだと思う。だから、本のタイトルは『日本人から、素敵なプレゼントをもら

えば喜ぶ。小泉内閣で秘書官を務めていた当時は、外遊のお土産選びには非常にこだわったものだ。小泉元首相と米国のブッシュ元大統領の親密な関係はこの毎回のプレゼント交換も重要な役割を果たしたと考えている。私にとって一番思い出深い贈り物は、小泉首相の地元、神奈川県鶴岡八幡宮で用意した弓だ。

ブッシュ元大統領は94年にテキサス州知事に立候補したが、メディアでの下馬評は低く、苦戦を余儀なくされていた。そんなときに、ブッシュ元大統領の知人が日本の明治神宮で勝利祈願をした破魔矢を贈り、ブッシュ元大統領は毎日その破魔矢に願をかけていたという。そんな経緯があつて、ブッシュ元大統領は大統領となったあとも大切にホワイトハウスに破魔矢を保管しているという。

その情報を入手した私は、首脳会談のプレゼントは破魔矢に



共同記者会見に臨むバイデン大統領と菅首相

大感激だった。その後、小泉元首相が退任するまで、米国は外交のあらゆる場面で日本の立場を優先してくる。それだけでなく、両首脳の強固な関係により、主要国の首脳たちは小泉元首相に一目置くようになり、国際社会における日本の地位は向上した。

プレゼントはモノには限らない。2006年の小泉元首相の訪米は、両首脳がエアフォースワンに同乗して、テネシー州のエルビス・プレスリー邸を訪問したことは知られているが、日本側からのブッシュ元大統領への見えないプレゼントがあつたことはあまり知られていない。

空港からプレスリー邸までの道に、米公民権運動の指導者であるキング牧師が暗殺された地にある「国立公民権博物館」を訪問したことがある。米国のリーダーがキング牧師の最期の地でその死を悼む姿勢を見せることは、差別に強く反対することと同じ意味になる。歴代大統領も同博物館の訪問を希望していたが、周辺の地域の治安に問題があり、一度も実現していなかった。それが、小泉元首相が突

然「行きたい」と言ったため、案内役のブッシュ元大統領も同行し、歴代大統領の悲願をかなえられた。

その日の非公式夕食会で、大統領のブレインとして有名だったカール・ロブ補佐官が「イマジマは私と同じレベルにいるべき」と呼びに来て「キング牧師の件で感激したと伝えたくつた」と興奮気味に話した。

今回の菅首相の訪米にあつたのは、バイデン大統領のお土産に公式には発表されていない。だから、私も何が贈られたのか知らないのだ。

私はバイデン大統領のことを調べて、とっておきの情報を入手していた。大統領は孫の影響で日本のゲーム「あつまれどうぶつの森」にハマっていると

いう。お堅い苦学人だと思われている菅首相がいきなり「あつまれどうぶつの森」を話しかけたら、絶対に大統領の心をくめたはずだ。

贈り物とは、相手に喜んでもらうためのもの。そして喜ばれるためには、相手のことを知る必要がある。徹底的に情報収集することが成功のカギである。

は、10箇所から8箇所に集約し、使い勝手もよい。トイレ内は、ドアノブの上には「忘れ物ゼロトレ」が設置されており、スマホなど忘れ物防止の工夫もなされていて、女子学生から好評を得ている。

実習館3階・女子トイレが美しく変身 全面リニューアル工事が終了



人感センサー式LED照明のパウダールーム



忘れ物ゼロトレ

自動開閉トイレ

実習館3階西側女子トイレの全面リニューアル工事が4月15日(木)に終了し、美しく清潔に生まれ変わった。実習館は1974年に建てら

れ、今年で46年が経過している。今回改修工事となった女子トイレは、長年の使用に伴い照明が暗く圧迫感があるなどの問題と、給湯・給水管の劣化により

圧力不足となり洋便器の水の流れが悪く、手洗いの際も水の出が悪いなどの要因から、リニューアルされた。工事は2020年12月18日か

全職員にPCR検査を実施 警戒レベル4を受けて

長野県松本地域の新型コロナウイルス感染症拡大(警戒レベル4)を受けて、本学は5月20日(木)、本館6階601教室において職員全員に対してPCR検査を実施した。

検査は、現段階で職員全員が感染していないかを確認し、学内の感染拡大防止を図ることを目的に行われた。宇田川信之歯学部部長は「今後も地域の感染状況を

見極めながら、必要に応じて



唾液を採取して提出する職員

は、10箇所から8箇所に集約し、使い勝手もよい。トイレ内は、ドアノブの上には「忘れ物ゼロトレ」が設置されており、スマホなど忘れ物防止の工夫もなされていて、女子学生から好評を得ている。

創立者の「視点」



大学誌編集主任
特任教授 **菅原 浩**

本稿を書いている5月中旬に、新型コロナウイルスは感染爆発の様相を呈している。マスクと手洗いの習慣がある日本において、なぜこのような無様な結果となったのだろうか。

政府の施策の誤りによる「人災」という側面の存在がまず指摘されなければならない。

当初には「検査をしないと医療崩壊が進む」などと称して、PCR検査の拡充をサポータージュシ、感染者の増加を意識的に隠蔽しようとしていた。

WHOも感染症対策の基本は「検査と隔離」だと言っているのに、わが国の政府は無症状感染者を早期に見つけて対応することに消極的だった。

これが急速な感染拡大に繋がってしまったのだ。その陰に、感染症対策の最前線に立つてきた保健所や感染症研究所の人員削減など、長年にわたる自民党政権の予防医学軽視の政策があることは否定できない。

初動の段階での一斉休校やアベノマスクの配布といった安倍前首相のトンチンカンなアクションは、専門家の意見に謙虚に耳を傾けようとはしない権力者の傲慢な姿勢を如実に示している。「GOTOトラベル」や「GOTOイート」といった事業を始めて、人の移動を増やしてしまつたことも失敗だった。感染拡大を防ぐには、人の移動をできるだけ制限しなければならぬはずなのに、菅首相は今年

の目標を掲げ、首脳は今年

コロナ禍の中で考えよう

開しようと考えていたらしい。感染力の強い変異株の侵入を水際で食い止めなければならぬのに、適切な対応がなされなかつたことも明らかだ。決め手となるワクチンの開発と調達にも大きな立ち遅れがあつた。先進国であるはずの日本でなぜワクチンが開発できなかったかと言え、集団接種時の事故などで責任を問われた当局が勧奨を取り消して個人責任にするなど消極的な態度を取り続け、「政府が背を向けてしまつた」からなのだ。

そこで外国から調達しなければならなくなつたが、菅首相自身も認めているようにメーカーとの交渉でも失態があり、確保が大幅に遅れた。

5月12日現在の「国・地域別の百人あたり接種完了者人数」では、イスラエルの56・16人は別格としても、米国35・13人、英国26・79人に対して、日本はわずか1・05人、20カ国中で最下位だ。

「国民の生命と健康な生活を守る」は、常に最優先の政治課題とされるべきであり、後手にまわるばかりで一向の成果が上がる見込みはない。一刻も早いワクチン接種の普及と防疫対策、崩壊の危機に直面している医療機関への支援と感染者の救済などに全力を尽くすべきだ。立憲民主党の枝野代表が「今は内閣不信任案を提出するときではない」と政局を回避したのも当然だろう。

ところが、菅内閣はと言えば、いまだに五輪への強い執着や、長年棚上げになっていた憲法改正のための国民投票法改正案を「どきどき紛れ」に成立させようとするなど、首を傾けたくなる動きが少なくない。

病院だより vol.32

シリーズ 専門性⑰

事務局経理室
納品検収センター

納品検収センターは病院棟3階にあり、大学内または病院内における消耗品、機器備品、薬品、試薬等の購入に関する発注、検収を主な業務としています。各メーカーや卸各社へ見積り依頼から価格交渉、商品発注や新規購入品の調査、各システムや機器の保守、修理依頼など、各部署から寄せられる要望への対応を行い、多くの決裁も納品検収

センターで起案しています。1日の多くの時間を占める業者への発注や納入業者との検品では、間違いのないよう特に気を配り業務を行っています。発注依頼の際は、品名、型番、色や包装単位での個数など、間違いやすく注意が必要な点があるので、確実な記入を日々お願いしております。特に新規購入品発注の際はより注意が必要となり、詳細を記入していただくことで時間のロスやミスを防ぐことができます。



納品検収センターのスタッフ

納品検収センターは3人態勢で、田中加緒里チーフを中心に、病院関係の業務（備品および消耗品の発注・管理など）は和田恵子事務員と宇治理英子事務員の2人が担当しています。昨年頃から続くコロナ禍では、生活や診療に必要とされるいろいろな商品が不足するといった事態が起きました。納品検収

センターでは不足するマスクや手袋、エプロン、キャップ、防護衣などの感染対策品の調達に、各メーカーや卸各社から情報を集め、安心安全で診療に臨めるような必要量の確保に努めています。感染対策から消耗品の使用量も増える中、現在必要量の在庫確保は行っていますが、まだまだ倍（約3倍）がみられている現状です。他のメーカーにも影響が及び、必要量を確保するために困難を要しました。

納品検収センターでは、少しでも多くの情報を集め、皆様に発信していきますので、使用にあたっての商品の振り分けなどご協力いただきながら、この窮地を乗り越えていければと思います。引き続き宜しくお願いいたします。

（事務局経理室 納品検収センター）

第1回「FD研修会」
歯科医師臨床研修医制度の改正について



本学病院臨床研修の見直しについて音琴教授が説明

2021年度から歯科医師臨床研修制度の一部改正が行われている。これを受けて、5月末日を境に本学病院臨床研修見直し案の策定を行うためのFD研修会が4月9日（金）、本館601教室にて臨床研修指導歯科医全員を対象として開催された。参加者たちは改正内容と留意点などを熱心に学んだ。

歯科医師臨床研修制度については、これまでおおむね5年ごとに制度の見直しが行われてきた。今般とりまとめられた「歯科医師臨床研修制度の改正に関するワーキンググループ報告書」（2020年1月7日）を踏まえ、今年度から制度の運用を見直すことになった。新たな到達目標を反映した研修プログラムとそれに伴う臨床研修施設の指定基準等の運用開始は2022年度からとなる。

研修会は、冒頭で宇田川信之歯学部部長から本研修会の主旨説明があったのち、本年度から病院アドバイザーに就任された矢島安朝特任教授からのご挨拶をいただき、講習会が開始された。講師は、病院初診室・研修

管理委員会の音琴淳一教授が務め、まず歯科医師臨床研修が15年目を迎えて、1. 臨床研修内容、2. 臨床研修施設、3. 指導体制の3つに比較的大きな改正があることが説明された。

1. 臨床研修内容についての改正点としては、①到達目標の高齢者社会を見据えた見直し、②指導歯科医だけでなく、多職種を含む関係者からの多面的評価の推進、③臨床研修中の基礎研究が可能になること、が示された。

2. 臨床研修施設についての改正点としては、①臨床研修施設の指導体制、臨床研修施設の指導体制ならびに研修歯科医の評価の機能強化、②新たに協力型（Ⅱ）臨床研修施設を新設し、従来の協力型を協力型（Ⅰ）とした施設間の連携の見直し、③3年以上研修歯科医の受け入れがない臨床研修施設への対応、④（研修施設）指定取り消し後の再申請、⑤臨床研修歯科

医のマッチング後の異動に関する特例の周知、⑥臨床研修施設指定基準の明確化、⑦「単独型」「管理型」の指定基準の見直しが行われる。

日本歯科理工学会学術講演会
歯科保存学講座・亀山敦史教授が
『魅せる接着歯科臨床』を解説

日本歯科理工学会春期第77回学術講演会は、今年度は、ライブビューイング可能なWeb開催として4月10日（土）、11日（日）に開催されました。これは、同学会の学術講演会の特色である「質疑応答」を損なうことなく、また、学会特有の臨場感を参加者が選択できる形式としてWeb開催の時代での新しい学会形式として運営されました。コロナ禍にも関わらず、50演題の合計64題の演題申込みがあり、昨年の誌上開催から一転し、本来の活気ある歯科理工学会となりました。



シンポジストとしてWebで講演する亀山教授

2日目午後に行われた学会主導型シンポジウムおよびDental Materials Adviser / Senior Adviser 特別セミナーでは、「さらなる歯質接着の可能性を探る！」というテーマのもと、接着技術の原点に戻り、材料学的および歯科治療の現状を見据え、今後の材料の開発と歯科医療の方向性を探るべく、

新刊紹介

口腔症状と全身疾患の相関性を学ぶ
『歯科医師のための内科学』医歯薬出版

本学病院の前島信也病院長が執筆に加わったテキスト『歯科医師のための内科学』が、医歯薬出版株式会社から4月8日（木）に発売された。

記載されている。前島病院長は「高齢化社会を背景として、複数疾患を患い、複数薬剤を常時内服している患者さんを、受け持ち患者として治療したり、指導したりすることが、歯科医師にとって避けられない現実となっている。本書は、実際の歯科診療時に遭遇する頻度の多い基礎疾患、内科疾患を取り上げ、その実臨床における留意点に

関してもまとめられている。総頁数336ページ/カラ判型B5判 定価9900円（本体9000円＋税10%）



以上の歯科医師臨床研修に関する情報に関しては厚生労働省HP（https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/shikanryo/index.html）にも公開されている。（参照のうえ、必要があれば本学研修管理委員会にお問い合わせ下さい。）

新教授紹介

(2021年4月1日付就任)

病理学講座

教授 村上 聡



このたび、4月1日付で病理学講座教授に就任させていただきました村上でございます。

病理学は名実ともにコネクターの役割を果たす分野です。

正しい診断がなければ適切な医療を提供することは困難で、診断の根拠として基礎と臨床をつなぐのが病理学です。

病理の診断や検査は、大学と一般歯科医院との接点でもあります。私はこれまで、病理診断だけでなく、味覚異常、ドライマウス、歯科金属アレルギーなどの口腔の検査外来や口腔心身症の相談にも従事してきました。

研究においても口腔上皮の病態解析や診断病理学などこれまで培われてきたテーマに加え、唾液や味覚の検査、歯根膜の病態生理、歯科用レーザーの

病態生理など歯科臨床に活かせる研究を講座一丸となって発信していきたいと考えています。基礎と臨床、医科と歯科、大学と地域など松本歯科大学の外を問わず教育、研究、臨床の有機的融合を目指し「人を大事に」をモットーに本学の未来に

薬理学講座

教授 荒 敏昭



村上 聡教授 略歴

1995年 3月	東京歯科大学卒業
1999年 3月	東京歯科大学大学院歯学研究科(病理学) 修了 博士(歯学)
2000年 10月	イタリア・ミラノ大学医学部薬理学研究所に留学
2002年 4月	東京歯科大学臨床検査学研究室 病院助手
2007年 4月	東京歯科大学歯科医学教育開発センター 助教(臨床検査部兼任)
2012年 4月	東京歯科大学臨床検査病理学講座 講師
2019年 4月	松本歯科大学口腔病理学講座 准教授
2021年 4月	松本歯科大学病理学講座 教授

このたび、薬理学講座教授に就任させていただきましたことになりました。学内および校友の皆様、本紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

私は1996年に北海道大学を卒業し、2000年に同大学院を修了して、その後、大阪および京都の研究施設に4年間勤務しました。

2004年には松本歯科大学歯科薬理学講座に助手として着任し、それから17年が経過しました。この間、教育では歯科薬理学の講義・実習を行ってきました。

薬理学は生理学や生化学をベースとしていますが、外科や麻酔、内科学などの臨床系科目の内容とも密接に関係しています。これらの科目への橋渡しとなるように心がけながら教育に携わりたいと思います。

また、統計学に関係する講義も担当させていただいていますが、歯科医学生にとって実験データの解釈をする上で今後ますます重要になる内容のため、こちらも理解できるようにわかりやすく伝えたいと思います。

研究では、口腔領域疾患の治療に漢方薬を臨床応用することを目的として、歯肉線維芽細胞あるいはマクロファージ系細胞

荒 敏昭教授 略歴

1996年 3月	北海道大学歯学部 卒業
2000年 3月	北海道大学大学院・歯学臨床系専攻 修了 博士(歯学)
2000年 4月	大阪府立母子保健総合医療センター 研究所・免疫部門 流動研究員
2003年 2月	京都大学再生医学研究所・生体システム制御学分野
2004年 4月	松本歯科大学歯科薬理学講座 助手 (2007年4月 助教)
2013年 4月	松本歯科大学歯科薬理学講座 講師
2019年 12月	松本歯科大学歯科薬理学講座 准教授
2021年 4月	松本歯科大学薬理学講座 教授

今後とも、皆様のご指導を承りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

台湾だより Vol.6 校友会台湾名譽部長 9期生 林干昉

『歯』と『牙』の違い②

現代中国語ではよく「牙」と「歯」の2字を併用する。例えば「お子さんの歯は何本生えましたか?」や「私の歯が痛む」などは「牙」という単体の字に置き換えることができ、「お子さんの歯は何本生えましたか?」「私の牙が痛む」ということが出来る。しかし単独で「歯」という字を使うことはほとんど見られない。

中国や台湾では歯科を牙科、歯科医を牙医と言うとの記載がある。日本では「牙」とはむき出した大きな鋭い歯という意味があるため、「歯」を用いることは比較的本来の意味に合致する。前述の日本語版ウィキペディア解説は全て正確とは言えない。



中国語では次第に「牙」を使用する傾向となった。しかし日本では歴史的に長く使用された通称の「歯」という字を使い続けているのである。「牙」は元来「大きな歯」という認識をされてきたが、言語の多重進化や動物における前歯と臼歯の形状などに伴い、「牙」という字に動物の名称を付けるようになった。例えば「象牙(むき出した歯)」「虎牙(八重歯)」「象牙(長く突き出た歯)」などは大きく鋭くどう猛な「牙」を形容している。それ以外に「牙城」「牙旗(中国で天子や大將軍のいる所に立てる旗)」「鬼牙(外に突き出た歯)」は動物

の「牙」を使い、権勢や威嚇の意を表すと同時に、「牙」が持つ本来の意味以外に新たな意義を与えている。これらの要因が長い時代を経て「牙」の本意を変えてきたか否かについては今後研究していきたいと思う。最後に述べておきたいのは、英語には「人の歯」と「動物の歯」の違いが無いということである。例えば「canine(犬歯)」とは「犬・犬の」という本来の意味である。その他、前述した「象牙」「象牙」にはそれぞれ「Fang, tusk, ivory」が当たる。また、台湾語(中国福建省や台湾で話される閩南語の一種)では日本と同様に「歯」という字を使用する。例えば「挽嘴歯(抜歯)」「假嘴齒(入れ歯)」「齒振(歯ブラシ)」などである。何故なら台湾語の語源は中国唐代の河洛語とされ、日本が遣唐使を派遣していた時代と一致するためである。この続きは今後コラムで書きたいと思う。

病院初診室・伊能利之助教 歯科保存学講座・甲田訓子助手 論文で博士(歯学)の学位取得

病院初診室(総合診断科・総合診療科)の伊能利之助教と歯科保存学講座 甲田訓子助手は、それぞれ「専門医共通研修へ繋がる臨床実習前医療コミュニケーション演習と学習評価」「鏡面研磨した歯冠修復用金属材料表面に対する各種接着剤用セメントの接着性」と題した博士論文を提出し、博士(歯学)の学位を取得した。



学位記を受領した伊能助教(右)と甲田助手

に口頭試問が行われ、3月10日(水)に研究科委員会により審査されて投票が行われた結果、満票で合格となった。4月14日(水)には創立30年記念棟「常念岳」の間で学位授与式が行われ、平岡行博大学院歯学独立研究科長より2人に博士(歯学)の学位記が授与された。

伊能助教は「論文では、本学第4学年の臨床予備演習における医療コミュニケーション演習において演習の各評価項目を評価分析し、今後の演習や臨床実習、専門医共通研修へと続く連続性を持たせた教育の考察を行いました。今回、このような学位記授与式を開いていただいたこと、ここに至るまでご指導いただいた音琴淳一指導教授をはじめ諸先生方に大変感謝しております」と感想を語った。

Matsumoto Dental University SNS Information

QRコード: LINE, twitter, Instagram, facebook

受験生の皆さんへ

一日体験入学

①6月13日(日) ②7月11日(日) ③7月18日(日)

※6・7月開催分のみ掲載

開催時間 9:30~15:00 (受付9:15~)

●キャンパスツアー ●ランジ体験 ●模擬実習 ●入試説明 ●進学相談 など

※参加希望の方は、本学ホームページまたは下記までご連絡ください。

お問い合わせ

HOT LINE 0263-54-3210 松本歯科大学 入試広報室 www.mdu.ac.jp

6月行事予定

3日(木) 納骨式

14日(月) マッチング・大学院説明会 第6学年

16日(水) テーマ発表会(大学院)

21日(月) 1期試験 第5学年

31日(水) 発表会(大学院)

人事異動

5月1日付

- 小松 弘章 (事務局庶務課 係長)
- 柳澤 和代 (事務局経理室事務員 (出向受入職員))
- 奥原 晃 (事務局経理室事務員)
- 栗原 祐史 (事務局経理室事務員)
- 多田 比紀 (事務局経理室事務員)
- 芳澤 享子 (看護部看護士)

5月10日付

- 山崎 尚美 (看護部看護士)